

児童生徒のアンケート分析からみた学校体育カリキュラムの研究 —生涯スポーツにつながる授業を目指して—

橋本 剛幸*・永浜 明子**

*近畿大学附属和歌山高等学校・中学校・**実践学校教育講座

(平成25年3月25日 受付)

本研究は、生涯スポーツへつながる学校教育の中の体育の役割を検討し、校種間の連携のとれたカリキュラムを提案し、今後のよりよい体育科教育のあり方を考えることを目的としている。今回は、児童生徒へのアンケート調査を実施・分析し、カリキュラム作成の上の注意点を明確にした。その結果、生涯スポーツにつなげていくためには、児童生徒にいわゆる「体育嫌い」の意識を持たせずに、スポーツの楽しさを感じさせることが重要であり、小学校から中学校、高等学校へとつながりを持ったカリキュラム、すなわち「あそび」から「スポーツ」への移行をスムーズに行えるカリキュラムの作成の重要性が示唆された。

キーワード：生涯スポーツ、楽しい体育、校種間連携

I 背景および目的

わが国では、誰もが簡単にスポーツを楽しむといった土壌が整っておらず、健康に不安を覚えた時に、ウォーキングやジョギングなどを始めることが多い。誰もが簡単にスポーツを楽しむ続けるためには、時間に余裕があり、場所がきちんと提供され、費用が余りかからず、同じ考えを持つ人たちが集まって初めて成り立つのだが、そのようないわゆるコミュニティスポーツはまだまだ少なく、一般的ではない。また、一番大事なスポーツをやりたいと思う気持ちにも大きな問題がある。スポーツには、それぞれの特性があり、その中に面白さがある。その面白さを知り、継続してやりたいと覚えることが必要であり、そのようなモチベーションを育てることこそが学校教育の中の体育の役割である。しかし、現実の学校体育は、その役割を十分に果たしていない。スポーツの楽しさを経験し、またやってみたいという気持ちが強ければ、自分たちで仲間を集めてスポーツをしようという行動も起きる。環境を整えることも必要だが、学校体育の役割は、動機づけにさらに重点が置かれるべきである。しかし、近年の子どもたちの運動能力や体力の低下は著しく、教師は基礎的な筋力や基本的な動きを指導することに時間がとられ、スポーツの楽しさを教えることが難しくなっている。もちろんスポーツを行ううえで、体力や運動能力をつけることは大変重要ではあるが、生徒の楽しみを重視した体育の授業と生涯スポーツにつながる生徒の意識に関する研究はなされていない。

このような状況の中で学校を卒業した後、継続してスポーツに親しんでいくような意識は低く、健康に不安を覚えたり、ストレスを解消するために身体活動やスポーツを再開するケースが多いと言えよう。まさに、学校体育とコミュニティスポーツあるいは生涯スポーツの分断が生じているのである。この分断に、現在の日本の学校教育と生涯教育が抱える、「切り離された教育」の一端を垣間見ることができる。学校体育における意識づけ、学校体育からコミュニティスポーツへのスムーズな移行、学校と地域との連携、これらが整わなければ、学校体育およびコミュニティスポーツの本来の目的・役割は果たし得ないと言っても過言ではない。スポーツの楽しさを体験し、将来子どもたち自らがコミュニティスポーツにおいて一生スポーツと親しむためには小学校から高校までの体育が重要な役割を果たしているのはいうまでもなく、人の健康を生涯通じて考えるためには、学校間及び地域の連携が不可欠である。

本研究は、コミュニティスポーツへのスムーズな参加を阻害する小学校から高等学校のカリキュラムの課題、スムーズな連携がなされるための方策を研究し、提言することを大きな目的とする。提言の際では、小学校から中学校、中学校から高等学校、さらに高等学校から卒業後のコミュニティスポーツへつながる無駄のないカリキュラムを作成、提案する。そのため、①小学校、中学校、高等学校における体育の授業カリキュラムを調査②児童・生徒たちに対する過去の運動経験などに関する意識調査③教員に対する児童・生徒の問題点に関する調査の3方向から、それぞれの目的に沿って調査・検討を行い、本研究の目的を達成する。先の研究では、自らスポーツを選んで行う選択授業を実施している高校3年生を対象に、現在までの体育の授業の内容、それに対する満足度・問題点、将来続けていきたいスポーツなどについてアンケート調査を行い、体育の授業のあり方や問題点を明らかにすると共に、高等学校卒業後、自身の健康を踏まえ、コミュニティスポーツへ参加していくことのできる土壌（興味、技術、体力など）が備わっているかを検証した [1]。今回は、児童・生徒たちに対する過去の運動経験などに関する意識調査から、年齢に適したスポーツ、運動能力、体力などをいかに身につければ、生涯スポーツにつながっていくか、学校教育体育へどう組み込むかを検討し、その重要性を提言する。

Ⅱ 児童・生徒意識調査

1. 目的

児童・生徒たちが体育に対して、どのように感じているかは本研究でも重要な要素である。特に、小学校、中学校においては、児童・生徒たちが体育の授業に対してどのように感じているかは、小学校、中学校、高等学校のカリキュラムの連携を考える上で必要不可欠である。本校（近畿大学附属和歌山高等学校）の3年生対象のアンケート調査に引き続き、自身の健康を踏まえ、生涯スポーツへつながることのできる土壌（興味、技術、体力など）が生徒たちに備わっているかを調査するため、小学校、中学校、高等学校に在籍する児童生徒を対象にアンケートを行なった。

2. 方法

a. 対象

対象は、大阪府と和歌山県の小学校2校、中学校3校、高等学校3校の計8校の児童・生徒で、内訳は以下のとおりである。

A小学校（大阪府）	6年生37名（男子19名、女子18名）
B小学校（大阪府）	6年生65名（男子28名、女子37名）
	5年生40名（男子19名、女子21名）
S中学校（和歌山県）	3年生30名（男子15名、女子15名）
K中学校（和歌山県）	3年生29名（男子14名、女子15名）
G中学校（和歌山県）	3年生37名（男子17名、女子20名）
T高等学校（和歌山県）	2年生35名（男子15名、女子20名）
U高等学校（和歌山県）	3年生48名（男子19名、女子29名）
G高等学校（和歌山県）	3年生36名（男子16名、女子20名）

b. 実施期間

2011年7月に実施した。

c. 内容

現在までの体育の授業の内容、それに対する満足度・問題点、将来続けていきたいスポーツなどについてアンケート調査を行った。アンケートはすべて無記名とした。小学校、中学校、高等学校ともにほぼ同じ内容であるが、それぞれの発達段階を考慮し、理解しやすい文言に変更した。また、小学校についてはアンケート内容を十分に理解できる5年生と6年生を対象とし、中学校、高等学校については在籍校においてすでに体験し

た実施種目の少ない1年生を除き実施した。

d. 分析方法

集計は、学校別、男女別に行った。分析方法は、項目ごとに人数を集計し、全体人数に対する割合を算出した。自由記述については、人数の多い順、または同じ内容のものを整理した。

3. 結果

a. 小学校

(1) 学年、男女別を教えてください

「(1) 学年、男女別を教えてください」に対する回答の結果を表1に示した。以下に質問項目ごとの結果を述べる。

(2) 学校の体育の授業は好きですか

「(2) 学校の体育の授業は好きですか」に対する回答の結果を表2に示した。

この問いに対して、「とても好きである」「まあ好きである」と答えた児童は全体で84.5% (120名)、男子で89.4% (59名)、女子で80.3% (61名)であった。「あまり好きではない」「まったく好きではない」と答えた児童が全体で7.0% (10名)、男子で3.0% (2名)、女子で10.5% (8名)と、女子に多かった。

(3) 上の(2)で1.か2.のどちらかに○をつけた人は、どんなところが好きですか

「(3) 上の(2)で1.か2.のどちらかに○をつけた人は、どんなところが好きですか」に対する回答の結果を表3-1に示した。

(4) 上の(2)で4.か5.のどちらかに○をつけた人は、どんなところが好きではないですか

「(4) 上の(2)で4.か5.のどちらかに○をつけた人は、どんなところが好きではないですか」に対しての回答の結果を表3-2に示した。

体育の授業が好きな理由として、友だちとの関係をあげる児童は全体で67.5% (81名)と、最も多くなっていた。また、その男女の割合は、男子55.9% (33名)、女子78.7% (41名)となっており、女子の回答数が多かった。その他の内容で、「勉強しなくていい」「遊べる」というやや否定的とも考えられる回答もあった。

一方、体育の授業が好きではない理由について、男子では「好きではない」と答えた全員(2名)が身体を動かすこと自体が好きではないと答えていた。女子の理由は、「着替えないといけないところ」50% (4名)、「からだを動かさないといけないところ」37.5% (3名)が多く、その他の理由においても「苦手」「難しいこと」をさせられるから」など、様々であった。

表1 「(1) 学年、男女別を教えてください」に対する回答

A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生		男子 (人)	女子 (人)	合計 (人)
男 (人)	女 (人)	男 (人)	女 (人)	男 (人)	女 (人)			
19	18	28	37	19	21	66	76	142

表2 「(2) 学校の体育の授業は好きですか」に対する回答

	A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 とても好きである	13	6	19	13	13	12	45	68.2	31	40.8	76	53.5
2 まあ好きである	5	7	6	16	3	7	14	21.2	30	39.5	44	31.0
3 ふつう	1	3	1	3	3	1	5	7.6	7	9.2	12	8.5
4 あまり好きではない	0	2	2	5	0	1	2	3.0	8	10.5	10	7.0
5 まったく好きではない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	19	18	28	37	19	21	66	100	76	100	142	100

表3-1 「(3)上の(2)で1.か2.のどちらかに○をつけた人は、どんなところが好きですか」に対する回答

		A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生		男子		女子		合計	
		男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 からだを動かすところ		12	8	18	18	10	11	40	67.8	37	60.7	77	64.2
2 友だちといっしょにスポーツや運動ができるところ		10	9	14	24	9	15	33	55.9	48	78.7	81	67.5
3 気分がすっきりするところ		8	6	13	12	6	3	27	45.8	21	34.4	48	40.0
4 その他		2	0	2	5	4	4	8	13.6	9	14.8	17	14.2
その他の内容	6 年男子	授業がわかりやすい 免疫力が上がる ボールを使う 楽しく運動ができる											
	6 年女子	楽しくできる 2 スポーツが好き 面白い 勉強しなくていい											
	5 年男子	楽しい 面白い 悩みが晴れる 勉強しなくていい											
	5 年女子	出来ない事に燃えてくる 出来る様になることがうれしい 楽しい 遊べるから											

表3-2 「(4)上の(2)で4.か5.のどちらかに○をつけた人は、どんなところが好きではないですか」対しての回答

	A小学校 6 年生		B小学校 6 年生		B小学校 5 年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 からだを動かさないといけないところ		0	2	3		0	2	100	3	37.5	5	50.0
2 友だちといっしょにスポーツや運動をしないといけないところ		0	0	1		0	0	0	1	12.5	1	10.0
3 着がえないといけないところ		1	0	2		1	0	0	4	50.0	4	40.0
4 その他		1	0	2		1	0	0	4	50.0	4	40.0
その他の内容	6 年女子						難しいことをさせられるから 今できないから 苦手					
	5 年女子											
	逆立ち、跳び箱、鉄棒が出来ないから											

(5) 体育の授業でなかったスポーツや運動の中でおもしろかったものは何ですか

「(5) 体育の授業でなかったスポーツや運動の中でおもしろかったものは何ですか」に対する回答の結果を表4に示した。

この問いに対して、水泳77.5% (110名)、サッカー 59.9% (85名)、ドッジボール57.0% (81名)の順であった。水泳は男子が65.2% (43名)に対して、女子が88.2% (67名)と多くなっていた。男子ではサッカーが78.8% (52名)と一番多かった。その他の種目では、ソフトボール、バスケットボールが男女ともに挙げられていた。

(6) それらのおもしろかったスポーツや運動を、中学校や高校でもやってみたいと思いますか

「(6) それらのおもしろかったスポーツや運動を、中学校や高校でもやってみたいと思いますか」に対する回答の結果を表5に示した。

この問いに対して、全体の95.1% (135名)の児童が、スポーツに興味を持ち、やってみたいと答えていた。

表4 「(5) 体育の授業でなかったスポーツや運動の中でおもしろかったものは何ですか」に対する回答

	A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 陸上運動 (かけっこ、リレー、ハードル走など)	10	3	7	15	9	10	26	39.4	28	36.8	54	38.0
2 器械運動 (マット運動、てつぼう、とび箱など)	5	4	7	12	5	15	17	25.8	31	40.8	48	33.8
3 ボートボール	6	5	2	15	5	16	13	19.7	36	47.4	49	34.5
4 ソフトバレーボール	3	9	2	5	3	6	8	12.1	20	26.3	28	19.7
5 サッカー	17	12	22	11	13	10	52	78.8	33	43.4	85	59.9
6 ドッジボール	9	12	18	13	13	16	40	60.6	41	53.9	81	57.0
7 キックベースボール	7	11	10	3	9	8	26	39.4	22	28.9	48	33.8
8 ダンス	1	5	0	8	2	16	3	4.5	29	38.2	32	22.5

9 水泳	11	13	19	33	13	21	43	65.2	67	88.2	110	77.5
10その他	2	2	7	4	2	3	11	16.7	9	11.8	20	14.1
その他の内容	6 年男子	しっぽ取り 野球 バスケ ソフト6										
	6 年女子	ソフトボール 天下統一 バスケ4										
	5 年男子	ソフト 遊び										
	5 年女子	縄跳び タイヤとび 鬼ごっこ										

表5 「(6) それらのおもしろかったスポーツや運動を、中学校や高校でもやってみたいと思いますか」に対する回答

	A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 ぜひやってみたい	11	5	15	15	13	12	39	59.1	32	42.1	71	50.0
2 できればやってみたい	8	12	13	18	4	9	25	37.9	39	51.3	64	45.1
3 あまりやりたくない	0	0	0	2	1	0	1	1.5	2	2.6	3	2.1
4 まったくやりたくない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 わからない	0	1	0	2	1	0	1	1.5	3	3.9	4	2.8
計	19	18	28	37	19	21	66	100	76	100	142	100

(7) 今、学校以外のところでスポーツや運動をしていますか

「(7) 今、学校以外のところでスポーツや運動をしていますか」に対しての回答の結果を表6に示した。

この質問に対して、全体で66.2% (94名) の児童が学校以外でもスポーツを行っており、特に男子では77.3% (51名) に及んでいる。

表6 「(7) 今、学校以外のところでスポーツや運動をしていますか」に対しての回答

	A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 している	14	9	22	18	15	16	51	77.3	43	56.6	94	66.2
2 していない	5	9	6	19	4	5	15	22.7	33	43.4	48	33.8
計	19	18	28	37	19	21	66	100	76	100	142	100

(8) 上の(7)で1.に○をつけた人は何をしているかを書いてください

「(8) 上の(7)で1.に○をつけた人は何をしているかを書いてください」に対しての回答の結果を表7に示した。

具体的に行っているスポーツとして、男子ではサッカー (18名, 35.3%), ソフトボール (14名, 27.5%), 水泳 (12名, 23.5%) が多く、女子ではポートボール (13名, 30.2%), 水泳 (9名, 20.9%) が多くなっていた。

(9) 体育の授業について、思っていることがあれば書いてください

「(9) 体育の授業について、思っていることがあれば書いてください」に対しての回答の結果を表8に示した。

この問いに対して、「ソフト、野球がしたい」「もっとドッジしたい」「サッカーしたい」など、積極的な意見が多かったが、「縄跳び、マット、鉄棒、跳び箱が楽しくない」「厳しい運動を少なくして」「器械が苦手でしっかり教えて」「柔軟をしてほしい」「無理やりはいや」などの不満も挙げられていた。

表7 「(8)上の(7)で1.に○をつけた人は何をしているかを書いてください」に対する回答

A小学校6年生		B小学校6年生		B小学校5年生	
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)
サッカー6 水泳3 ソフトボール2 ドッジボール2 球技1 走ること1	バドミントン4 縄跳び2 水泳1 ダンス1 ゴルフ1 サッカー1	サッカー8 ソフトボール6 野球5 水泳4 剣道1 柔道1 ドッジボール1 キックベースボール1	ボートボール8 水泳5 バスケットボール3 合気道2 テニス2 柔道1 バレーボール1	ソフトボール6 水泳5 サッカー4 野球2 空手2 ラグビー1	ボートボール5 ダンス3 水泳3 合気道1 なぎなた1 バスケットボール1 腹筋、腕立て1 柔道1 テニス1

表8 「(9)体育の授業について、思っていることがあれば書いてください」に対する回答

A小学校6年生	
男(人)	女(人)
楽しい 体育館でもっとしたい 出来ないことが出来てスッキリする もっといろいろしたい もっとドッジしたい ランニングが少ない しんどい (2)	楽しい (3) チームプレイがしたい 器械が苦手でしっかり教えて 出来ないから残念
B小学校6年生	
男(人)	女(人)
楽しい (4) 本格的にしたい 体力がつきそう もっと身体を動かしたい ソフト、野球がしたい サッカーしたい 縄跳び、マット、鉄棒、跳び箱が楽しくない	体育を増やす 体で覚えられるから好き もっと面白いことしたい ダンスしたい みんなが仲良くなれることをしたい 仲間はずれややることのない人をなくす いろいろな遊びがあっていい 涼しいところでしたい 体動かすのしんどい
B小学校5年生	
男(人)	女(人)
楽しい (7) 苦手をうまくになりたい 体育少ない サッカーしたい 水泳面白い 水泳の自由時間ほしい 厳しい運動を少なくして	楽しい (4) 出来るようになりたい もっと時間増やして 好きだから増やして 新しいスポーツしたい (2) いろいろしたい (2) 柔軟をしてほしい 道具使うのが好き これからもダンス続けたい サッカーしたい キックベース、ドッジしたい 器械運動面白い みんなが体育好きになってほしい 自分のペースでしたい 自由な体操服でしたい 無理やりはいや 着替えめんどくさい

b. 中学校

I. 学年、性別を教えてください

「I. 学年、性別を教えてください」に対する回答の結果を表9に示した。以下に質問項目ごとの結果を述べる。

II. 学校で受けている体育の授業は好きですか

「II. 学校で受けている体育の授業は好きですか」に対する回答の結果を表10に示した。

この質問に対して、65.6% (63名)の生徒が「非常に好きである」「まあ好きである」と答えていた。

表9 「Ⅰ. 学年、性別を教えてください」に対する回答

S 中学3年生		K 中学3年生		G 中学3年生		男子	女子	合計
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	46	50	96
15	15	14	15	17	20			

表10 「Ⅱ. 学校で受けている体育の授業は好きですか」に対する回答

	S 中学3年生		K 中学3年生		G 中学3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 非常に好きである	7	6	3	3	4	3	14	30.4	12	24.0	26	27.1
2 まあ好きである	5	3	6	5	7	11	18	39.1	19	38.0	37	38.5
3 ふつう	2	2	4	3	6	3	12	26.1	8	16.0	20	20.8
4 あまり好きではない	1	4	1	1	0	3	2	4.3	8	16.0	10	10.4
5 まったく好きではない	0	0	0	3	0	0	0	0	3	6.0	3	3.1
計	15	15	14	15	17	20	46	100	50	100	96	100

Ⅲ. 現在の学校の体育で、今までに行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか

「Ⅲ. 現在の学校の体育で、今までに行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答の結果を表11に示した。

この問いに対して、男子ではサッカー 52.2%（24名）、女子ではバレーボール38.0%（19名）が多かった。次いで、バスケットボールが男子41.3%（19名）、女子32.0%（16名）となっており、女子ではダンスも同じく16名の割合の30.0%（15名）であり、続いてソフトボールが、男子30.4%（14名）、女子20.0%（10名）であった。女子では、バドミントンも同割合20.0%（10名）であった。水泳は、全体で20.8%（20名）と、小学校の77.5%（110名）に比べるとその割合が低くなっていた。

表11 「Ⅲ. 現在の学校の体育で、今までに行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答

	S 中学3年生		K 中学3年生		G 中学3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 陸上競技(短距離走、リレー、長距離走、ハードル走、走り高跳びなど)	1	1	3	2	0	3	4	8.7	6	12.0	10	10.4
2 器械運動(マット運動、鉄棒、跳び箱、平均台など)	3	3	1	2	1	1	5	10.9	6	12.0	11	11.5
3 バスケットボール	6	6	7	0	6	10	19	41.3	16	32.0	35	36.5
4 バレーボール	4	3	1	12	6	4	11	23.9	19	38.0	30	31.3
5 サッカー	7	5	8	0	9	1	24	52.2	6	12.0	30	31.3
6 ハンドボール	0	0	1	0	0	1	1	2.2	1	2.0	2	2.1
7 ソフトボール	8	5	2	0	4	5	14	30.4	10	20.0	24	25.0
8 テニス	0	0	0	0	1	5	1	2.2	5	10.0	6	6.3
9 バドミントン	0	7	1	0	0	3	1	2.2	10	20.0	11	11.5
10 卓球	0	0	1	0	4	0	5	10.9	0	0	5	5.2
11 武道(柔道、剣道など)	0	0	1	0	2	0	3	6.5	0	0	3	3.1
12 ダンス	0	0	0	4	0	11	0	0	15	30.0	15	15.6
13 水泳	2	7	5	5	0	1	7	15.2	13	26.0	20	20.8
14 その他	0	1	1	0	0	1	1	2.2	2	4.0	3	3.1
その他の内容	男子 野球											
	女子 ドッジボール2											

Ⅳ. 小学校時代の体育の授業で行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか

「Ⅳ. 小学校時代の体育の授業で行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答の結果を表12に示した。

この質問に対して、ドッジボールが男女とも52.2%（24名）、52.0%（26名）と多かった。次いで、男子では、キックベースボール45.7%（21名）、サッカー 23.9%（11名）、女子では水泳36.0%（18名）、キックベースボー

ル26.0%（13名）であった。

V. それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやりたいと思いますか

「V. それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやりたいと思いますか」に対する回答の結果を表13に示した。

この質問に対して、「ぜひやりたい」「できればやりたい」と答えた生徒は63.5%（61名）と半数を超える結果であった。

表12 「IV. 小学校時代の体育の授業で行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答

	S中学3年生		K中学3年生		G中学3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 陸上運動（かけっこ、リレー、ハードル走など）	2	4	1	2	1	4	4	8.7	10	20.0	14	14.6
2 器械運動（マット運動、鉄棒、跳び箱など）	2	5	1	4	1	2	4	8.7	11	22.0	15	15.6
3 ボートボール	1	0	6	2	2	1	9	19.6	3	6.0	12	12.5
4 ソフトバレーボール	0	0	1	4	0	2	1	2.2	6	12.0	7	7.3
5 サッカー	2	3	4	0	5	0	11	23.9	3	6.0	14	14.6
6 ドッジボール	7	7	10	9	7	10	24	52.2	26	52.0	50	52.1
7 キックベースボール	9	9	4	0	8	4	21	45.7	13	26.0	34	35.4
8 ダンス	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.0	1	1.0
9 水泳	2	6	4	4	4	8	10	21.7	18	36.0	28	29.2
10 その他	2	1	0	2	2	3	4	8.7	6	12.0	10	10.4
その他の内容	男子	バスケットボール 長距離走 ソフトボール										
	女子	バドミントン バレーボール バスケットボール テニス ソフトボール										

表13 「V. それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやりたいと思いますか」に対する回答

	S中学3年生		K中学3年生		G中学3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 ぜひやりたい	4	4	5	1	4	2	13	28.3	7	14.0	20	20.8
2 できればやりたい	9	5	5	6	6	10	20	43.5	21	42.0	41	42.7
3 あまりやりたくない	2	2	3	4	4	2	9	19.6	8	16.0	17	17.7
4 まったくやりたくない	0	0	0	3	0	0	0	0	3	6.0	3	3.1
5 わからない	0	4	1	1	3	6	4	8.7	11	22.0	15	15.6
計	15	15	14	15	17	20	46	100	50	100	96	100

VI. 特に大人になってもやっていきたいスポーツや運動があれば書いてください

「VI. 特に大人になってもやっていきたいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答の結果を表14に示した。

この問いに対して、男子はテニス（6名）、サッカー（6名）、バスケットボール（4名）、野球（3名）の順で、女子はバドミントン、水泳、バスケットボール、バレーボールが同数（4名）であった。

VII. 体育の授業でやってほしいスポーツや運動があれば書いてください

「VII. 体育の授業でやってほしいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答の結果を表15に示した。

この問いに対して、男子はテニス（8名）、野球（4名）が多く、女子ではバドミントン、ソフトテニス

(ともに4名)が多かった。

Ⅷ. 体育の授業に対して希望することがあれば書いてください

「Ⅷ. 体育の授業に対して希望することがあれば書いてください」に対する回答の結果を表16に示した。

この問いに対して、前向きな意見(週3回にしてほしい、回数増やして、面白い)もあったが、不満(水泳しんどい、マツイ、長距離走しんどい)も挙げられていた。

表14 「Ⅵ. 特に大人になってもやっていきたいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答

S 中学3年		K 中学3年		G 中学3年	
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)
テニス3 野球2 バスケットボール2 サッカー2 ソフトボール1 バドミントン1 長距離走1	バドミントン2 水泳2 ウォーキング1 ソフトボール1 野球1 テニス1 バスケットボール1 ソフトテニス1 サッカー1 水泳1 長距離走1 縄跳び1	水泳2 サッカー2 ラグビー1 野球1 バスケットボール1	バレーボール4 水泳2 ソフトバレー1 テニス1	テニス3 サッカー2 剣道1 バスケットボール1 みんなで楽しめるスポーツ1	バスケットボール3 バドミントン2 ダンス1 走ること1

表15 「Ⅶ. 体育の授業でやってほしいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答

S 中学3年		K 中学3年		G 中学3年	
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)
テニス3 野球2 ハンドボール1	ソフトテニス3 バドミントン2 ドッジボール2 野球1 テニス1	テニス2 サッカー1 バレーボール1 武道1 ソフトボール1 ラグビー1	バレーボール2 球技1 ソフトテニス1 ソフトボール1 バスケットボール1 テニス1 バドミントン1	テニス3 野球2 いろんなスポーツ1	水泳1 サッカー1 バドミントン1 バスケットボール1

表16 「Ⅷ. 体育の授業に対して希望することがあれば書いてください」に対する回答

S 中学3年	
男	女
週3回にしてほしい もっと優しくしてほしい 水泳しんどい	テニス、バドしたい 水泳増やして
K 中学3年	
男	女
今のままでいい 回数増やして 水泳飛び込みしたい	道具を使うような特別なものをしたい マツイ
G 中学3年	
男(人)	女(人)
試合時間短い 体育祭の内容を自分たちで決めたい	面白い バスケット増やして 楽しくやりたい 長距離走しんどい

c. 高等学校

I. 学年、性別を教えてください

「I. 学年、性別を教えてください」に対する回答の結果を表17に示した。以下に質問項目ごとの結果を述べる。

II. 学校で受けている体育の授業は好きですか

「II. 学校で受けている体育の授業は好きですか」に対する回答の結果を表18に示した。

この質問に対して、79.8% (95名)の生徒が、「非常に好きである」「まあ好きである」と答えていた。

表17 「Ⅰ. 学年、性別を教えてください」に対する回答

T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生		男子	女子	合計
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	50	69	119
15	20	19	29	16	20			

表18 「Ⅱ. 学校で受けている体育の授業は好きですか」に対する回答

	T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1非常に好きである	5	4	6	6	8	9	19	38.0	19	27.5	38	31.9
2まあ好きである	7	10	12	18	4	6	23	46.0	34	49.3	57	47.9
3ふつう	3	5	1	4	4	5	8	16.0	14	20.3	22	18.5
4あまり好きではない	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2.9	2	1.7
5まったく好きではない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	20	19	29	16	20	50	100	69	100	119	100

Ⅲ. 現在の学校の体育で、今までに行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか

「Ⅲ. 現在の学校の体育で、今までに行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答の結果を表19に示した。

この問いに対して、全体では、バレーボール49.6%（59名）、バドミントン42.0%（50名）、バスケットボール33.6%（40名）の順であり、男子ではソフトボール34.0%（17名）、サッカー32.0%（16名）が、女子ではダンス31.9%（22名）が上位を占めていた。陸上競技では小学校38.0%（54名）、中学校10.4%（10名）、高等学校5.0%（6名）であり、年齢が上がるに伴い、人数、各校種で占める割合ともに減少していた。同様に、器械運動も小学校33.8%（48名）、中学校11.5%（11名）、高等学校1.7%（2名）と減少していた（表19、表4、表11）。

表19 「Ⅲ. 現在の学校の体育で、今までに行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答

	T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1陸上競技(短距離走、長距離走、ハードル走、走り高跳び、砲丸投げなど)	0	0	1	5	0	0	1	2.0	5	7.2	6	5.0
2器械運動(マット運動、鉄棒、跳び箱、平均台など)	0	0	1	0	1	0	2	4.0	0	0	2	1.7
3バスケットボール	2	8	10	16	2	2	14	28.0	26	37.7	40	33.6
4バレーボール	11	12	4	15	5	12	20	40.0	39	56.5	59	49.6
5サッカー	4	8	6	3	6	1	16	32.0	12	17.4	28	23.5
6ラグビー	1	0	0	0	2	0	3	6.0	0	0	3	2.5
7ハンドボール	0	0	2	6	0	0	2	4.0	6	8.7	8	6.7
8ソフトボール	8	0	4	5	5	8	17	34.0	13	18.8	30	25.2
9テニス	0	3	2	7	1	5	3	6.0	15	21.7	18	15.1
10バドミントン	2	9	7	11	7	14	16	32.0	34	49.3	50	42.0
11卓球	3	4	3	9	1	1	7	14.0	14	20.3	21	17.6
12武道(柔道、剣道など)	0	0	1	0	0	0	1	2.0	0	0	1	0.8
13ダンス	0	2	0	11	0	9	0	0	22	31.9	22	18.5
14水泳	1	5	0	5	0	0	1	2.0	10	14.5	11	9.2
15その他	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2.9	2	1.7
その他の内容	女子		ゴルフ2									

Ⅳ. 中学校時代の体育の授業で行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか

「Ⅳ. 中学校時代の体育の授業で行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答の結果を表20に示した。

この質問に対して、全体では、バスケットボール45.4%（54名）、バレーボール34.5%（41名）であり、男子ではサッカー34.0%（17名）、女子ではバドミントン23.2%（16名）が上位を占めた。陸上競技は、全体で

10.9% (13名)、器械運動は、全体で13.4% (16名) であった。

表20 「Ⅳ. 中学校時代の体育の授業で行なったカリキュラム（スポーツや運動の種類）の中で楽しかったものは何ですか」に対する回答

	T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 陸上競技 (短距離走、長距離走、ハードル走、走り高跳びなど)	0	2	1	7	1	2	2	4.0	11	15.9	13	10.9
2 器械運動 (マット運動、鉄棒、跳び箱、平均台など)	2	4	0	5	2	3	4	8.0	12	17.4	16	13.4
3 バスケットボール	4	9	9	19	6	7	19	38.0	35	50.7	54	45.4
4 バレーボール	5	7	6	9	4	10	15	30.0	26	37.7	41	34.5
5 サッカー	4	1	8	2	5	4	17	34.0	7	10.1	24	20.2
6 ハンドボール	0	0	3	1	3	4	6	12.0	5	7.2	11	9.2
7 ソフトボール	6	2	2	4	2	2	10	20.0	8	11.6	18	15.1
8 テニス	1	4	2	4	0	4	3	6.0	12	17.4	15	12.6
9 バドミントン	1	7	2	4	4	5	7	14.0	16	23.2	23	19.3
10 卓球	0	1	1	3	1	1	2	4.0	5	7.2	7	5.9
11 武道 (柔道、剣道など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 ダンス	0	0	0	7	0	2	0	0	9	13.0	9	7.6
13 水泳	2	2	0	5	2	3	4	8.0	10	14.5	14	11.8
14 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Ⅴ. それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやってみたいと思いますか

「Ⅴ. それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやってみたいと思いますか」に対する回答の結果を表21に示した。

この問いに対して、84.1% (100名) の生徒が、「ぜひやってみたい」「できればやってみたい」と答えていた。

表21 「Ⅴ. それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやってみたいと思いますか」に対する回答

	T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生		男子		女子		合計	
	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1 ぜひやってみたい	7	5	10	12	11	6	28	56.0	23	33.3	51	42.9
2 できればやってみたい	6	10	8	13	3	9	17	34.0	32	46.4	49	41.2
3 あまりやりたくない	1	4	0	3	0	2	1	2.0	9	13.0	10	8.4
4 まったくやりたくない	0	1	0	1	0	0	0	0.0	2	2.9	2	1.7
5 わからない	1	0	1	0	2	3	4	8.0	3	4.3	7	5.9
計	15	20	19	29	16	20	50	100	69	100	119	100

Ⅵ. 特に大人になってもやっていきたいスポーツや運動があれば書いてください

「Ⅵ. 特に大人になってもやっていきたいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答の結果を表22に示した。

この問いに対して、男子ではサッカー (8名)、野球 (6名)、バスケットボール (5名) と多く、女子ではテニス (8名)、ダンス (8名)、バレーボール (5名) と多くなっていた。

表22 「Ⅵ. 特に大人になってもやっていきたいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答

T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生	
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)
バスケットボール3 野球3 卓球1 いろいろ1 ソフトテニス1 ソフトボール1 サッカー1 アルティメット1	バレーボール3 バドミントン3 水泳2 バスケットボール2 テニス1 野球1 サッカー1 ダンス1	サッカー3 球技1 テニス1 長距離走1 カバディ1 野球1 バスケットボール1 ランニング1 ジョギング1 缶けり1	テニス4 ダンス4 ゴルフ1 バレーボール1 バレー1 ソフトテニス1 バスケットボール1 陸上1 ジョギング1 ヨガ1	サッカー4 バレーボール2 野球2 テニス2 バドミントン1 ソフトテニス1 ダンス1 卓球1 バスケットボール1	テニス3 ダンス3 バドミントン1 バレーボール1 サッカー1

Ⅶ. 体育の授業でやってほしいスポーツや運動があれば書いてください

「Ⅶ. 体育の授業でやってほしいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答の結果を表23に示した。

この問いには、アイスホッケー、アメリカンフットボール、フットサル、ラクロス、ヨガ、フィギアスケート、カバディなど、少数ずつではあるが、日ごろあまり馴染みのないスポーツが挙げられていた。

Ⅷ. 体育の授業に対して希望することがあれば書いてください

「Ⅷ. 体育の授業に対して希望することがあれば書いてください」に対する回答の結果を表24に示した。

この問いに対して、「野球したい」「ヨガしたい」「もっとサッカーしたい」など、種目に関する回答が多かった。

この質問では、種目名を問うことが意図ではなかったが、上記Ⅶの回答とほぼ同じ回答となった。質問の意図が、回答者にうまく伝わっておらず、アンケート作成における今後の課題である。

表23 「Ⅶ. 体育の授業でやってほしいスポーツや運動があれば書いてください」に対する回答

T高校2年生		U高校3年生		G高校3年生	
男(人)	女(人)	男(人)	女(人)	男(人)	女(人)
バドミントン1 ソフトテニス1 野球1 アイスホッケー1 ビリヤード1 バレーボール1 ダンス1	ハンドボール2 フィギア1 走高跳1 野球1 バドミントン1 鬼ごっこ1	缶けり2 野球2 アメフト1 ラクロス1 ラグビー1 フットサル1	ソフトテニス4 剣道2 テニス2 バドミントン1 空手1 ヨガ1	バスケットボール3 アメフト1 ヨガ1 フットサル1 水泳1 サッカー1 ドッジボール1	カバディ1 サッカー1 ドッジボール1 バレーボール1 走高跳1

表24 「Ⅷ. 体育の授業に対して希望することがあれば書いてください」に対する回答

T高校2年生	
男	女
ソフトをたくさんしたい 野球したい	野球したい バドしたい
U高校3年生	
男	女
楽しい 3年もマラソン大会参加 球技中心に2 缶けりしたい 暑い 持久走なくす	試合多くしたい ヨガをしたい
G高校3年生	
男(人)	女(人)
授業増やして 柔軟必要 もっとサッカーしたい 朝1時間目しんどい	サッカーしたい

4. 考察

先の研究[1]では、高校生のアンケートをもとに小学校、中学校も含めて体育の授業のあり方を考えてきたが、ここでは小学生、中学生、高校生それぞれを比較しながら検討をしていきたい。

「体育の授業を好きですか」という質問に対し、小学生84.5% (120名)、中学生65.6% (63名)、高校生79.8% (95名)の児童、生徒が「とても好きである」「非常に好きである」「まあ好きである」と答えており(表2, 10, 18)、小学生、高校生に比べ、中学生でその割合が少なくなっている。その理由として、小学生では、「からだを動かすところ」「友だちといっしょにスポーツや運動ができるところ」と答えた児童が多くなっており(表8)、純粋にからだを動かすことへの興味や友だちとの関係が影響している。

「今、学校以外のところでスポーツや運動をしていますか」の問いに、66.2% (94名)の児童が「している」と答えている(表6)。その内容については様々で(表7)、ここからも小学生が運動を好きで行っていること

がよく分かる。

中学生の体育の授業に対しての希望（表16）を見てみると、「水泳しんどい」「マツトいや」「長距離走しんどい」「もっと優しくしてほしい」「楽しくやりたい」という消極的な回答が挙げられている。小学生では（表8）、「サッカーがしたい」「ドッチがしたい」「新しいスポーツがしたい」など前向きな回答が多いことと比較すると、中学生になって、ややからだを動かすことへの興味が少なくなることが明らかとなった。その一因として、小学校と比較して中学校体育における授業中の規律が厳しくなっていることが考えられる。小学校の体育の授業と、中学校の体育の授業のギャップの大きさが原因しているのであれば、授業のあり方を考えていく必要があるだろう。ただ、小学生の体育を好きな理由の中に、「勉強しなくていい」「遊べるから」という回答があり、体育は勉強ではないという意識や体育と遊びを混同するような意識を生まれないような授業が必要である。

また、小学生の女子で「あまり好きではない」が10.5%（8名）、中学生の女子で「あまり好きではない」が16.0%（8名）、「まったく好きではない」が6.0%（3名）と、やや多くなっている。小学生のその理由を見ると、「着替えないといけないところ」50%（4名）、「からだを動かさないといけないところ」37.5%（3名）が多く、その他の理由においても「苦手」「難しいことをさせられるから」などとなっている（表3-2）。小学校の頃から、すでに体育に対する苦手意識やからだを動かすことへの抵抗を中学校、高等学校になってから改善することは難しくなる。そのことを考えると、これらの意識がいつ頃から芽生え始めているのか、より低学年で調査することは、今後の課題である。

次に高校生の結果を検討する。高等学校になって体育の授業を「好き」と回答する割合が少し増加（79.8%）し、「あまり好きではない」が2.9%（2名）にとどまっている。これらの結果には、選択授業により、自分の好きなスポーツをできることが影響していると考えられる。高校生の授業に対する希望（表24）を見ても、中学生のような不満は少なく、小学生と同じような前向きな回答が多くなっている。先の研究で述べた [1]、運動に対する二極化がすでに小学校からここでも現れており、運動をしない層を増やす形でその差が大きくなっている。選択授業などの形態を早い時期から取り入れていくことはひとつの対策になる。新学習指導要領では、選択授業を中学3年次から入れており、小学校の内容についても、幼児教育からの連携を意識し、「あそび」から「スポーツ」への移行を明確化している [2] [3]。そのつながりをうまく作ることが、二極化を改善することにつながるに違いない。

「現在の学校の体育で、今までに行ったカリキュラムの中で楽しかったものは何ですか」の回答（表4、11、19）について、小学校、中学校、高等学校を比較、検討する。

まず、目に付くのが年齢が上がるに伴い水泳への興味の減少である。小学校では水泳77.5%（110名）であるが、中学校で20.8%（20名）、高等学校で9.2%（11名）となっている。着替えることへの抵抗もあるだろうが、授業の形態が影響していると考えられる。小学校の場合、水慣れや水に入ることへの抵抗をなくすこと、泳ぎ方が中心になっているが、中学校、高等学校になると、泳げる生徒が増え、泳ぐ距離を伸ばすことに重点が置かれる。また、能力差も出てくることで、得意、不得意がはっきりし、苦手意識を持つ、あるいは嫌いと感じる児童生徒が増えると考えられる。陸上競技、器械運動にも同様のことが伺える。陸上競技では小学校38.0%（54名）、中学校10.4%（10名）、高等学校5.0%（6名）、器械運動は小学校33.8%（48名）、中学校11.5%（11名）、高等学校1.7%（2名）と減少している。これらの種目は、遊びから発展した球技系のスポーツとは異なり、克服的スポーツとも言われるように積み重ねることで楽しさが出てくるスポーツである。このような克服的スポーツ種目の楽しさを、体育の授業の中だけで感じることはなかなか難しい。永田らは、競争的スポーツと克服的スポーツの比較の中で、「運動特性による特徴として、競争的スポーツでは競争による楽しさ、克服的スポーツでは開放欲求の充足による楽しさ」としている [4]。また、高木らは、「個人的な運動である体操、器械運動、陸上競技では、より高次の楽しさを学習しているものほど、より高いレベルの技能を習得している」としている [5]。これらの授業では、楽しさを感じるために、工夫した取り組みが必要である。

体育の授業において楽しかった種目において、男子ではサッカーが小学校78.8%（52名）、中学校52.2%（24名）、高等学校32.0%（16名）と常に上位にあり、女子ではバレーボールが中学校38.0%（19名）、高等学校56.5%（39名）で、バドミントンが中学校20.0%（10名）、高等学校49.3%（34名）、ダンスが中学校30.0%（15名）、高等学校31.9%（22名）と上位を占めている。また、小学校の「その他」の回答の中に、男女ともバス

ケットボール、ソフトボールが挙げられている。これら小学生が「その他」の回答の中に挙げる2種目については、その後、中学校および高等学校において、楽しかった種目に対する回答の全体の中で上位を占める結果となっている。その割合は、中学校のソフトボールが25.0%（24名）、バスケットボールが36.5%（35名）、高等学校のソフトボールが25.2%（30名）、バスケットボールが33.6%（40名）とその後も上位にある。

小学校で「それらのおもしろかったスポーツや運動を、中学校や高校でもやってみたいと思いますか」の問いに対して、全体の95.1%（135名）の児童が、スポーツに興味を持ち、やってみたいと答えている（表5）ことから、やはり早い時期からさまざまなスポーツを経験し、技能を身につけていけば、それが興味につながる事が示唆された。

「小学校時代（中学校時代）の体育の授業で行ったカリキュラムの中で楽しかったものは何ですか」の問いに対して（表12, 20）、中学生は、ドッジボール52.1%（50名）、キックベースボール35.4%（34名）、高校生は、バスケットボール45.4%（54名）、バレーボール34.5%（41名）、男子のサッカー34.0%（17名）、女子のバドミントン23.2%（16名）が上位にきている。ドッジボール、キックベースボールは残念ながら中学校以上のカリキュラムにはないが、小学校で行ったドッジボールの印象は強く、中学校、高等学校の体育の授業でやってほしいスポーツの中にも挙げられている（表15, 23）。また、バスケットボール、バレーボール、男子のサッカー、女子のバドミントンについても、中学校から高等学校へのつながりがあり、校種間の系統立ったカリキュラムがその後のスポーツへの興味に大きく影響している。カリキュラムを作る際に、校種間連携を意識することは、児童、生徒のモチベーションを長く維持することにも必要であり、重要なポイントである。

「それらの楽しかったスポーツや運動を、今後学校を卒業して大人になっても、機会があればやってみたいと思いますか」の問いに、中学校で63.5%（61名）、高等学校で84.1%（100名）が、「ぜひやってみたい」「できればやってみたい」と答えている（表13, 21）。小学校の95.1%（135名）ほど高くはないが、多くの児童、生徒がスポーツの楽しさを経験し、興味を持っていることは確かである。それをいかに生涯スポーツへつなげていくか、そのためには、もちろん学校外での取り組みも必要となるが、学校教育の中での体育の役割も重要である。小学校、中学校、高等学校がいかに連携し、内容を充実させて、児童生徒たちが「体育嫌い」にならずにスポーツを楽しんでいくことが出来るか、その取り組みが大きな課題である。

Ⅲ まとめ

今回の研究では、児童生徒のアンケート分析を行い、学校体育の現状と児童生徒の体育に対しての思いを把握し、小学校、中学校、高等学校の校種間で連携の取れた体育のカリキュラムをつくるための注意点を明確にすることを目的に検討を行った。生涯スポーツにつなげていくためには、児童生徒にいわゆる「体育嫌い」の意識を持たせずにスポーツの楽しさを感じさせることが重要である。その上で、小学校から中学校、高等学校へとつながりを持ったカリキュラムを考えていくことが必要である。「あそび」から「スポーツ」への移行をカリキュラムの中でうまく作ることが、スポーツに積極的に取り組む生徒とそうでない生徒の二極化を改善することにつながるに違いない。今回の結果を踏まえ、今後は各学校で実際に作られた体育カリキュラムの検討と、実際に指導を行う教員のアンケート分析をもとに本研究の目的であるカリキュラムの提案を行いたい。

参考文献

- [1] 橋本 剛幸, 永浜 明子「生涯スポーツにつながる小学校, 中学校, 高等学校の体育カリキュラムの研究（第Ⅰ報）—スポーツの楽しさを重視した授業を目指して—」大阪教育大学 紀要61(2), 2013
- [2] 小学校学習指導要領解説 体育編 文部科学省平成20年6月
- [3] 中学校学習指導要領解説 保健体育編 文部科学省 平成20年7月
- [4] 永田 靖章, 市野 聖治, 築瀬 歩「運動の楽しさからみた学習成果の比較に関する研究～競争的スポーツと克服的スポーツとの比較～」日本体育学会大会号(38A), 414, 1987-08-15
- [5] 高木 奈緒美, 永田 靖章「運動の特性による楽しさの学習の変容に関する研究～個人的な運動の特性について～」日本体育学会大会号(34), 738, 1983-08-18

Study on Physical Education at School Based on the Survey on School Children
— Aimed at a Lesson Leading to Lifelong Sports —

HASHIMOTO Yoshiyuki* and NAGAHAMA Akiko**

* *Wakayama high school and junior high school attached to Kinki University*

** *Practical School Education*

In this study, we have examined how physical education plays a role to lead to lifelong sports. Also, we suggest physical education curricula which encourage improvement as students progress from elementary school to high school. The purpose of this study is to suggest how physical education can be taught in a better way from now on. We, at first, conducted a survey on students, analyzed it, and clarified the important points in creating curricula. As a result, we came to the conclusion that it is necessary for students not to dislike physical education but for them to experience the pleasure in sports. It is most important to create curricula which are linked between elementary school, junior high school and high school. In short, it is essential to create curricula where the transition from "play " to "sports" is conducted.

Key Words: lifelong sports, pleasant physical education, collaboration between elementary school, junior high school and high school

